九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

人口減少下、汚水処理の持続可能性を確保するために目指すべき、下水道施設のコンパクト化と経営規模の広域化に関する研究

宮原，慎

https://hdl.handle.net/2324/4496051

出版情報：Kyushu University, 2021, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

（様式５－２）

氏　　名	宮原　慎
論　文　名	人口減少下、汚水処理の持続可能性を確保するために目指すべき下水道施設のコンパクト化と経営規模の拡大に関する研究
論文調査委員	主　査　　九州大学　教授　　塚原　健一 副　査　　九州大学　教授　　久場　隆広 副　査　　九州大学　教授　　三谷　泰浩

論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

本研究は、人口減少下、下水道経営における汚水処理の持続可能性を確保するため、下水道整備区域の適正化の検討手法を提案し、また、今後、市町村が広域化・共同化で目指すべき下水道事業規模を定量的に明らかにしたもので、下水道工学および建設マネジメント学上寄与するところが大きい。よって，本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。